

(別 添)

経営健全化計画完了報告書

大阪市中央卸売市場

目 次

第 1 経営健全化計画の平成 27 年度実施状況	1 頁
1 計画と具体的な措置の状況	1 頁
(1) 収入における方策	1 頁
(2) 支出における方策	1 頁
(3) その他の資金収支を改善する方策	3 頁
2 資金不足額解消の状況	4 頁
3 資金不足比率の状況	5 頁
4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況	5 頁
(1) 仲卸業者の経営基盤強化策の実施	5 頁
(2) 市場の情報化への取組み	5 頁
(3) 環境対策の推進	5 頁
第 2 今後の公営企業の経営の方針	6 頁
1 健全な経営の確保に関する事項	6 頁
(1) 収入の増加に関する事項	6 頁
(2) 支出の削減に関する事項	6 頁

経営健全化計画完了報告書

(大 阪 市)

(中央卸売市場事業会計)

第 1 経営健全化計画の平成 27 年度実施状況

中央卸売市場事業では、経営健全化計画を策定し、経営の合理化や資本費平準化債の活用による資金不足額の改善に取り組んできた。この計画を実施する中で、取扱高が計画を上回ったことや、職員数の見直しなどコスト削減の取組みにより、平成 27 年度決算において資金不足を解消するとともに、1 年前倒しで計画を完了した。

1 計画と具体的な措置の状況

(1) 収入における方策

ア 本場業務管理棟の入居促進

(入居促進による収入額)

(単位:百万円)

	計画額(A)	実績額(B)	差引(B-A)
平成22年度	33	37	4
平成23年度	131	135	4
平成24年度	131	132	1
平成25年度	131	138	7
平成26年度	131	206	75
平成27年度	131	200	69

新規入居者数 22 年度 4 件、23 年度 4 件、24 年度 1 件、25 年度 3 件
26 年度 0 件、27 年度 2 件

(2) 支出における方策

ア 人員削減

- ・ 組織体制（業務執行体制）、業務の見直し（民間委託化など）により削減

(人員削減)

	計画(A)	実績(B)
平成21年度	25人	25人
平成22年度	22人	22人
平成23年度	0人	1人
平成24年度	7人	7人
平成25年度	2人	6人
平成26年度	0人	0人
平成27年度	0人	3人
累 計	56人	64人

(人件費)

(単位:百万円)

	計画額(A)	実績額(B)	差引(B-A)
平成21年度	1,161	1,153	△ 8
平成22年度	984	912	△ 72
平成23年度	1,011	1,001	△ 10
平成24年度	939	834	△ 105
平成25年度	1,011	723	△ 288
平成26年度	921	744	△ 177
平成27年度	981	759	△ 222

※ 人件費には、退職手当を含む。

イ 業務委託化の推進と物件費の増加抑制

- 前記の人員削減にあたり、業務の民間委託を推進することとなるが、業務の効率化、保守・修繕計画や入札方法の見直しなどにより、民間委託費への転嫁が物件費の増嵩に繋がらないよう抑制している。

(物件費)

(単位:百万円)

	計画額(A)	実績額(B)	差引(B-A)
平成21年度	2,409	2,326	△ 83
平成22年度	2,429	2,305	△ 124
平成23年度	2,422	2,316	△ 106
平成24年度	2,377	2,346	△ 31
平成25年度	2,371	2,534	163
平成26年度	2,377	2,678	301
平成27年度	2,407	2,686	279

※ 平成 25 年度以降、電気料金の値上げに伴い光熱水費が大幅に増加したため物件費が増加した。

ウ 投資的経費の見直し

- 投資的経費については、施設整備・補修に係る経費などを漏れなく見積もり、市場ごとの施設整備・補修計画を策定した。

なお、その執行に関しては4年間で1つの期間として厳格な予算執行管理を行い、予期せぬ支出があった場合にも、期間内の他の事業を縮減若しくは後年に実施することにより、総額としての予算の執行管理を行うこととしている。

(建設改良費)

(単位:百万円)

	計画額(A)	実績額(B)
平成21年度	2,278	2,098
平成22年度	3,840	3,036
平成23年度	5,666	6,355
平成24年度	341	309
平成25年度	580	449
平成26年度	951	127
平成27年度	1,290	18
累 計	14,946	12,392

(3) その他の資金収支を改善する方策

ア 資本費平準化債の発行

- 減価償却費と企業債償還金との不对応により構造的に発生している資金不足については、必要最小限の資本費平準化債を発行し有効に活用することで抑制している。

(資本費平準化債発行額)

(単位:百万円)

	計画額(A)	実績額(B)
平成21年度	1,518	1,518
平成22年度	2,092	2,092
平成23年度	2,293	2,302
平成24年度	2,412	2,338
平成25年度	2,721	2,645
平成26年度	2,684	2,346
平成27年度	3,938	3,533

2 資金不足額解消の状況

(単位:千円)

区分 \ 年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)
当初計画 A		936,864	1,723,266	1,651,809	1,235,306
解消実績額 B		1,349,452	2,091,196	2,611,340	1,667,456
現在計画 C		—	—	—	—
B-A又はC-A		412,588	367,930	959,531	432,150
資金不足額	12,658,410	11,308,958	9,217,762	6,606,422	4,938,966

区分 \ 年度	平成25年度 (第5年度)	平成26年度 (第6年度)	平成27年度 (第7年度)	平成28年度 (第8年度)
当初計画 A	1,526,461	1,511,696	2,202,966	1,939,099
解消実績額 B	1,984,192	1,548,126	2,473,474	—
現在計画 C	—	—	2,202,966	1,939,099
B-A又はC-A	457,731	36,430	270,508	—
資金不足額	2,954,774	1,406,648	—	—

備考

- 1 計画初年度から当該年度の前年度（26年度）までは解消実績額を、当該年度（27年度）については解消実績額と現在計画とを、当該年度の翌年度以降（28年度以降）については現在計画による額を記載している。
- 2 計画初年度から当該年度（27年度）における「B-A又はC-A」欄には、B-Aの額を記載している。

3 資金不足比率の状況

(単位:%)

年度 資金不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)		平成24年度 (第4年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	198.7	189.8	178.8	164.4	146.7	137.5	106.3	116.2	80.9

年度 資金不足比率	平成25年度 (第5年度)		平成26年度 (第6年度)		平成27年度 (第7年度)		平成28年度 (第8年度)		備考
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
資金不足比率	92.8	48.6	68.7	23.3	32.0	—	—	—	計画支出額 からの減

備考 「備考」欄には、当該年度（27年度）の計画値と実績値の差異の理由について記載している。

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

(1) 仲卸業者の経営基盤強化策の実施

- ア 中小企業診断士などの専門家派遣相談の継続的な実施
- イ 本市業務条例の財務基準に抵触する仲卸業者を対象に業務検査の継続的な実施

(2) 市場の情報化への取組み

- ア 場内業者の取引情報電子化に向けて情報の規格化を推進

(3) 環境対策の推進

- ア 本場に隣接する緑道、屋上緑化ゾーンの維持管理
- イ 太陽光発電設備の維持管理
- ウ 発泡スチロール及び木製パレット等の再資源化の実施
- エ 場内運搬車両等の低公害車利用について啓発

第2 今後の公営企業の経営の方針

1 健全な経営の確保に関する事項

今後については、平成27年度に作成した「中央卸売市場事業会計収支見込」に基づき、大規模整備事業に伴う企業債利息や減価償却費の負担などによる当年度損失解消に向けた取組みを積極的に行っていく。

(1) 収入の増加に関する事項

本場業務管理棟の入居促進やその他市場施設の資産の有効活用など収入の増加に向けた取組みを引き続き実施

(2) 支出の削減に関する事項

民間活力の活用による経費の削減や投資的経費の選択と集中など支出の削減に向けた取組みを引き続き実施